

議員派遣について

[本会議での取り扱い]

- 議員派遣一覧表（目的、場所、期間、派遣議員）を本会議席上に配付し、議決を行う。
- 質疑、討論は行わず、即決の扱いとする。
- 意見等があれば、運営委員会で表明することができる。

【参 考】

地方自治法（第100条）

13 議会は、議案の審査又は当該普通地方公共団体の事務に関する調査のためその他議会において必要があると認めるときは、会議規則の定めるところにより、議員を派遣することができる。

横浜市会会議規則（第117条）

市会において審査、調査その他必要により議員を派遣する場合は、市会の議決でこれを決定する。ただし、緊急を要する場合又は閉会中にあつては、議長において議員の派遣を決定することができる。

2 前項の規定により、議員の派遣を決定するに当たっては、派遣の目的、場所、期間その他必要な事項を明らかにしなければならない。

議 員 派 遣 一 覧 表 (案)

目 的	場 所	期 間	派遣議員
<p>環境未来都市として横浜市が今後行うべき施策を考えるために、世界的大都市であるニューヨーク市の持続可能で強靱なまちづくりや民間事業者が行う温暖化防止対策等について調査を行う。</p> <p>また、姉妹都市であるバンクーバー市のグリーンな都市を目指すまちづくりや自然環境を考えた観光・経済振興施策等について調査を行う。</p>	<p>ニューヨーク (アメリカ合衆国) バンクーバー (カナダ)</p>	<p>平成29年 4月11日から 平成29年 4月19日まで</p>	<p>大山しょうじ 菅野義矩 今野典人 花上喜代志 麓理恵 谷田部孝一</p>
<p>ルーマニアにおいては、コンスタンツァ市を訪問し、姉妹都市提携40周年関連行事に参加するとともに、今後の都市間連携に関して市当局、市民友好団体と意見交換を行う。</p> <p>ブラジルにおいては、リオデジャネイロ市、ブラジリア市、サントス市、サンパウロ市の4都市を訪問する。リオデジャネイロ市ではリオデジャネイロオリンピック関連施設を視察するとともにオリンピック後の施設活用、オリンピックに関連した市民スポーツ事業について視察する。ブラジリア市では世界遺産に登録された同市の都市計画を調査する。サントス市では本市と都市間連携協定を結んだ項目に沿って、より一層の連携が図れるよう行政、議会関係者と意見交換を行う。サンパウロ市では市当局、議会など世界最大の日系人コミュニティーを形成している同市の関係各所を訪問し、神奈川県人会と意見交換を行い、移民出発の地、横浜港から中南米各地に出航した日系移民の歴史について調査する。</p> <p>アルゼンチンにおいては、ブエノスアイレス市を訪問し、自転車利用の促進、車両規制の強化、公園等の緑化計画など総合的な環境振興策について視察し意見交換を行う。</p> <p>ニュージーランドにおいては、オークランド市を訪問し、ワールド・マスター・ゲームス2017を視察し大規模スポーツイベントに対応する同市の支援体制について視察するとともに意見交換を行う。</p> <p>オーストラリアにおいては、シドニー市を訪問し、シドニー港の港湾計画を視察するとともに、観光における同市の港湾の役割について調査する。</p>	<p>コンスタンツァ (ルーマニア) リオデジャネイロ ブラジリア サントス サンパウロ (ブラジル連邦共和国) ブエノスアイレス (アルゼンチン共和国) オークランド (ニュージーランド) シドニー (オーストラリア連邦)</p>	<p>平成29年 4月20日から 平成29年 5月3日まで</p>	<p>伊波俊之助 小松範昭 興石且子 斉藤達也 坂井太 清水富雄 瀬之間康浩 田野井一雄 山本たかし 横山正人</p>

目 的	場 所	期 間	派遣議員
<p>全国最大の基礎自治体である横浜市の抱えている諸問題の解決及び海外諸都市との国際協力・連携強化を図り国際都市横浜を目指すために、本市フランクフルト事務所の訪問や各視察先での意見交換を通して、有益な施策を調査研究し、本市施策にフィードバックさせる。</p> <p>また先進的な仕組みの動物保護施設や港湾関連施設及び社会保障制度、ICT活用先進都市等の調査研究を行う。</p> <p>ドイツでは、本市フランクフルト事務所の活用状況と企業誘致の取り組み及びMICE関連施設等の活用比較。ベルリン市の世界最大級の動物保護センターを視察し、民間との協力関係など運営方法を本市政策に応用させる。</p> <p>スウェーデンでは、エコシティの取り組みを視察し、ストックホルム市役所でのヒアリング及び市議会側と意見交換し本市の施策に反映させる。教育分野においては幼児からの公的教育現場を視察し本市教育委員会の在り方及び教職員の教師力向上について調査研究する。</p> <p>リトアニアでは、首都のヴィルニユス市のICTの取り組みや海外企業進出に向けての先進的な施策を研究する。また、ヴィルニユステックパークでのスタートアップ向けオフィス創設プロジェクトを視察し横浜企業進出に向けての可能性を探る。</p> <p>世界でも最先端のマイナンバー制度を確立しているエストニアのタリン市を視察し意見交換。国民ID制度の現状と本市における事務作業等のメリット・デメリットを現場サイドからヒアリング。様々な広域な利用方法を視察、セキュリティやリスク回避について勉強し本市施策に反映する。</p> <p>フィンランドでは、ヘルシンキ市で日本語補習学校を視察し、少人数での授業方法や運営委員会による運営方法及び日本政府の関わりなどをヒアリングし意見交換を行う。また、都市計画インフォを視察し、ヘルシンキの建築や地域計画、交通計画などの都市計画を学ぶ。</p> <p>ロシアでは、日本領事館を訪問しロシアでの日本国企業進出状況や港湾関連施設への視察を行い、横浜港との差異を把握。次回サッカーワールドカップ開催都市での新競技場建設現場等を視察し、運営方法などのヒアリング。横浜市と同じ18行政区をもつサンクトペテルブルク市を代表する造船、様々な工業状況の確認と本市への企業誘致の可能性を探る。</p>	<p>フランクフルト ベルリン (ドイツ連邦共和国) ストックホルム (スウェーデン王国) ヴィルニユス (リトアニア共和国) タリン (エストニア共和国) ヘルシンキ (フィンランド共和国) サンクトペテルブルク (ロシア連邦)</p>	<p>平成29年 4月22日から 平成29年 5月2日まで</p>	<p>黒川 勝 酒井 誠 渋谷 健 関 勝則 山下 正人 渡邊 忠則</p>